

近畿学校保健学会通信

№. 72

平成4年4月30日発行
近畿学校保健学会事務所
〒640 和歌山市九番丁27
和歌山県立医科大学衛生学教室内
TEL 0734-26-8324(直通)
振替口座 大阪4-107021番

第39回 近畿学校保健学会案内

(下記のように、学会を開催します。関心のある方は、どなたでも参加できます)

主催 近畿学校保健学会 協賛 滋賀県医師会
後援 滋賀県教育委員会 滋賀県歯科医師会
大津市教育委員会 滋賀県薬剤師会
滋賀県学校保健学会

会長 林 正 (滋賀大学 教授)
事務局長 石 樽 清 司 (滋賀大学 助教授)

〒520 大津市平津2丁目5-1
滋賀大学教育学部健康学研究室
第39回近畿学校保健学会事務局
TEL (0775) 37-7795 (林)、7726 (石樽)
FAX (0775) 33-2574 (滋賀大学庶務課)
郵便振替 (番号) 京都5-6482
(名称) 第39回近畿学校保健学会事務局

日 時 平成4年6月6日 (土) 9:00~17:00

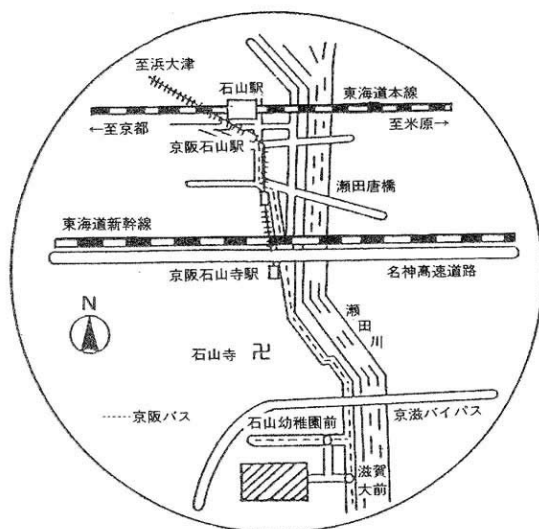
会 場 滋賀大学教育学部 (次頁図参照)
大津市平津2丁目5-1

日 程

9:00	12:06	13:00	14:02	14:45	15:50	17:00	19:00
9:30	12:10	13:10	14:10	14:50	15:55	17:30	
受付	一般講演 第1会場 第2会場	評議員会 3階 大会議室	一般講演 第1会場 第2会場	総 会 大講義室	会長講演 林 正 教授 大講義室	特別講演 山岸司久 教授 大講義室	懇 親 会 アヤハ レーク サイド ホテル

会 費 正 会 員：年会費 3,000円 (既納者は不要)
当日会員：参加費 2,000円 (資料代を含む)、(学生 1,500円)
評 議 員：評議員には昼食を用意致しますので、代金 1,500円をいただきます。
懇親会費：4,000円 アヤハ レークサイド ホテル (0775-24-2321)

会場附近案内図



学会場（滋賀大学）への交通機関のご案内

公共交通機関をご利用の方

JRでお越しの方は、「JR石山駅」より、京阪バスあるいはタクシーをご利用下さい。京阪電車でお越しの方も、「JR石山駅」からバスあるいはタクシーをご利用下さい。終点「京阪石山寺駅」からは、多少不便です。

○京阪バス（190円）

大石または外畑行き（約10分）、「滋賀大学前」下車、徒歩約7分大学正門

石山団地行き（約10分）、「石山幼稚園」下車、徒歩約10分大学正門

（大石、外畑、曾東、新浜行き）

午前8時 5, 15, 29, 44, 59

9時 14, 29, 44, 59

10時 14, 29, 44, 59

（石山団地行き）

午前8時 3, 8, 11, 19, 29, 34, 39, 51

9時 4, 9, 19, 34, 49

10時 4, 9, 19, 34, 49

○タクシー

JR石山駅よりご乗車下さい。

マイカーをご利用の方

名神高速道路瀬田西インターチェンジ
（京都方面から）

名神高速道路瀬田東インターチェンジ
（彦根方面から）

京滋バイパス石山インターチェンジ（宇治方面から）
より、いずれも約5分。大学構内には約300台収容の駐車場があります。

運営についてのご連絡

○参加者へ

1. 受付

- (1) 会費既納者……受付で府県名、氏名をお申し出いただき名札をお受け取り下さい。
- (2) 会費未納者……受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属をご記入のうえ、会費3,000円をお納め下さい。
- (3) 当日会員……当日会員受付で記入票を受け取り、氏名、住所、所属をご記入のうえ、会費2,000円（学生1,500円）をお納め下さい。

2. その他

- (1) 名札に所属、氏名をご記入いただき、会場では必ず着用して下さい。
- (2) 昼食は、大学生協食堂またはルージュ（湘南学園内）をご利用ください。なお、生協食堂の営業時間は、11時30分から午後1時30分までです。
- (3) 懇親会のお申し込み（4,000円）を受け付けておりますので、お誘い合わせの上ご参加下さい。
- (4) 評議員会ご出席の方は、昼食代1,500円を別途受付でお支払いの上、弁当引換券をお受け取り下さい。
- (5) 駐車場は、約300台収容可能ですので、ご利用下さい。

○発表者へ

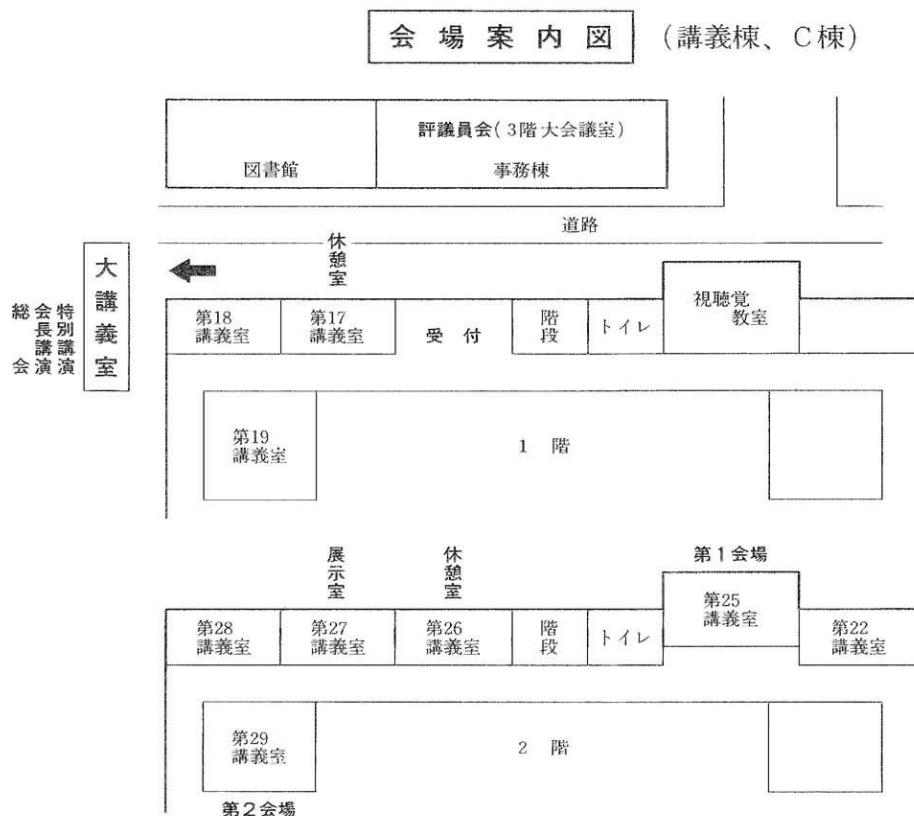
- (1) 前演者の口演が始まると同時に、各会場前方の次演者席に必ず着席して下さい。
- (2) 発表時間は9分間、討論時間は4分以内です。時間の厳守をお願いします。
8分で1回、9分で2回、ベルを鳴らします。
- (3) 各会場とも、発表は講演予稿集を用い、スライドは使用できません。配布資料がある場合は、少なくとも発表の30分前までに各会場の受付に提出して下さい。配布資料は100部程度ご用意下さい。また、写真等を回覧する場合は2～3部ご用意下さい。

○座長へ

- (1) 前座長の登壇後直ちに各会場前方の次座長席にご着席下さい。
- (2) 受持時間内の進行は座長にご一任しますが、1題あたり13分以内で進行されますようお願いいたします。
- (3) 例年のとおり、学会通信用の座長のまとめをお願いします。

○懇親会参加者へ

- (1) 17時05分に1階受付前から、アヤハレークサイドホテル行きのバスが出ますので、ご乗車下さい。



第39回 近畿学校保健学会役員

〔学会事務局〕

学 会 長 林 正（滋賀大学教育学部教授）
事務局長 石樽 清司（滋賀大学教育学部助教授）

〔学会運営委員〕

板持 紘子	滋賀大学附属中学校	伊藤 昭三	市立大津公民館晴嵐分館
植村 良雄	県医師会	鷗飼 房子	養護教諭部会
大音 晋一	県学校薬剤師会	大村 芳子	県立八幡高等学校
島田 司巳	滋賀医科大学小児科教室	川副 茂	県学校薬剤師部会
蒲生 芳子	長浜市教育委員会	木戸 増子	県教育委員会
草野 薫子	大津市教育委員会	小林 清基	東診療所
速水 裕	県歯科医師会	谷川 尚巳	草津市立新堂中学校
藤居 正博	県歯科医師会	喜多尾文代	近江八幡市立岡山小学校
中村 清美	養護教諭部会長	南條 徹	県医師会
藤井 義顕	県学校保健会	萬木由利子	高島町立高島小学校
村山 綾子	県立東大津高等学校	山口 金治	県学校薬剤師会
山岸 司久	滋賀大学保健管理センター	桑名勇三郎	志賀公民館
正木 繁雄	県教育委員会保健体育課	新野理三郎	大津市教育研究所
広野 政三	県教育委員会学校給食係		
岩橋比古貞	大津市教育委員会学校保健体育課		
岡本 紘忠	大津市教育委員会学校保健体育課		

第39回近畿学校保健学会プログラム

一般講演（講演9分、討議4分）

—午前の部—

第1会場（2階、第25講義室）

健康教育（9：30～10：09）

座長 山本 公弘(奈良女子大学)

101 自己身体イメージの発達に関する検討

○各務美佐緒、忠井俊明、楠 裕子、園 緑、石浦昭美
加藤京子、田村勢津子、金井秀子(京都教育大学)

102 「自覚と自律」に視点を当てた「健康づくり」の試み（Ⅰ）

——「健康観」に関して——

○北村翰男(奈良県学校薬剤師会)、竹田斌郎(奈良県医師会学校医部会)

103 健康教育における化学物質（薬物等）の取り扱いについて

○北山敏和、勝野眞吾(兵庫教育大学疫学・健康教育学研究室)

生活習慣(1)（10：09～10：35）

座長 南條 徹(滋賀県医師会)

104 湖北地区における生徒の生活態度とその対策

中村いさを(虎姫高等学校、学校保健研究部会湖北ブロック代表)

105 全寮制肢体不自由養護学校における生徒の健康問題

○釜石仁士、渡辺正樹(兵庫教育大学疫学・健康教育学研究室)

生活習慣(2)（10：35～11：14）

座長 三野 耕(兵庫教育大学)

106 高校生の摂食障害と高等学校教育

○北村陽英(奈良教育大学学校保健研究室)

107 高校生の疲労訴えとその原因について

○美馬 信、古田肇子、伊藤徳三、岡崎延之、南口公恵(大阪女子短期大学)

108 知力と体格・肥満・初潮との相関に関する研究

○門田美千代(瀬戸内短大)、川畑愛義(日本生活医研)、山根孝子(比治山女子高校)
瀬戸 進(大谷大)、庄司博延(京都女子大)

健康意識(1) (11:14~11:53)

座長 金井 秀子(京都教育大学)

- 109 青年期女子学生の自己身体イメージについて
○山下道代、忠井俊明、茂見幸子、河野嘉寿穂、金井秀子(京都教育大学)
- 110 大学生のストレスイベントについて
○築山泰典、忠井俊明、大西 元、金井秀子(京都教育大学)
- 111 大学生における金縛り(睡眠麻痺)の実態
○宮原時彦、北村陽英(奈良教育大学学校保健研究室)

第2会場(2階、第29講義室)

発育発達(1) (9:30~10:09)

座長 寺田 光世(京都教育大学)

- 201 島本町立小学校児童の成長にともなった肥満の変動
○島津健三(大阪府三師会学校医部会)
- 202 幼児の肺機能診断法について
○原田昭子、日坂歩都恵(兵庫女子短大)、原田碩三(兵庫教育大学)
- 203 3才から6才迄の「足」と靴の検診
○荻原一輝(医療法人一輝会)、南 哲、田中洋一(神戸大学教育学部)

発育発達(2) (10:09~10:48)

座長 大山 良徳(大阪大学)

- 204 小学生の朝食・おやつ調査の結果
——脂質検査とかかわって——
田附敏子(彦根市立彦根中学校)、宇野富美代(彦根市立稲枝西小学校)
○村林弘美(彦根市立亀山小学校)
- 205 彦根市内児童の脂質検査結果についての一考察
○北野延子(城北小学校)、田部はつ江(京都女子大学)、辻田真琴(鳥居本小学校)
- 206 児童・生徒の身長別体重パーセンタイル値と血清脂質について
○後和美朝、羅 維之、谷内俊文、黒田基嗣、吉田義昭(和歌山医科大学衛生学)
白石龍生(大阪教育大学保健)、三野 耕(兵庫教育大学生活健康系)
松本健治(鳥取大学教育学部)、武田眞太郎(和歌山医科大学衛生学)

発育発達(3) (10:48~11:27)

座長 島田 司己(滋賀医科大学)

- 207 兵庫県下一農村地区の児童・生徒の貧血の実態についての疫学的研究
—— (I) Cross-sectional study : 米国 Bogalusa との比較——
○勝野眞吾、山本博信、赤星隆弘、山根洋司、北山敏和
風早祥恵(兵庫教育大学疫学・健康教育学研究室)、中井久純(神戸国際大学)
- 208 兵庫県下一農村地区の児童・生徒の貧血の実態についての疫学的研究
—— (II) Follow-up study : 貧血と成長、栄養摂取——
○山本博信、赤星隆弘、山根洋司、北山敏和、高鳥美佐
勝野眞吾(兵庫教育大学疫学・健康教育学研究室)、中井久純(神戸国際大学)
- 209 女子大学生の Hb レベルと身体計測値との関連性
○山根洋司、勝野眞吾、赤星隆弘、山本博信(兵庫教育大学疫学・健康教育学研究室)
濱中良郎(兵庫教育大学保健管理センター)

保健指導 (11:27~12:06)

座長 木戸 増子(滋賀県教育委員会)

- 210 子どもの実態とその対応を浮き彫りにする学校検診を考える
○岩本スミ子(堺市立百舌鳥小学校)
- 211 某小学校におけるアレルギー性疾患の実態とセルフケアについて
○長谷川ちゆ子(西脇市立重春小学校)
- 212 ヘルスカウンセリング(事例研究—第1報)の報告
○板持紘子(滋賀大学附属中学校)、村山綾子(県立東大津高校)

—午後の部—

第1会場（2階、第25講義室）

健康意識(2) (13:10~13:36)

座長 石樽 清司(滋賀大学)

112 小学校児童の生死等に関する意識についての研究

○栗山千代美(正親小)、川畑愛義(日本生活医研)
瀬戸 進(大谷大)、吉村磯次郎(京都女子大)

113 高令化社会へ向けての意識調査
——男子高校生の場合——

○宮本泰子(大阪女子短期大学附属高等学校)、南口公恵、成山公一
岡崎延之(大阪女子短期大学)、須藤勝見(大阪教育大学)

健康意識(3) (13:36~14:02)

座長 南 哲(神戸大学)

114 学生の生活意識に関する入学後4年間の変動

山本公弘(奈良女子大学)、○柳生善彦(奈良県吉野保健所)

115 小学校、中学校、高校における喫煙防止教育の実施状況と
教職員の喫煙に対する意識調査を実施して

○松岡志津(桐原小)、若井啓子(竜王西小)、川端典子(祇王小)
間壁恵子(能登川中)、大村芳子(八幡高)

第2会場（2階、第29講義室）

保健指導(2) (13:10~13:36)

座長 上延富久治(大阪教育大学)

213 自転車の普及・利用とマナー・安全に関する研究

○瀬戸 進(大谷大)、川畑愛義(日本生活医研)、木村静雄(ストレス研)
大山 肇(京都外大)、小島広政(京都産大)、平野登志子(華頂短大)

214 養護教諭に求められる保健活動の展望

——一般教師からみた養護教諭——

○川崎千佳子(県立高島高等学校)、中村清美(大津市立長等小学校)

保健指導(3) (13:36~14:02)

座長 美崎 教正(神戸大学)

215 保健室からみた児童・生徒の発育・発達

○加藤 弘、松岡勇二(和歌山大学教育学部)、中谷 薫(和歌山大学附属中学校)
山田恵美(和歌山市立八幡台小学校)

216 溶連菌検査の見直しについて

○高木優枝(今津町立東小学校)

座 長 武田眞太郎 (和歌山医科大学)

子供の個人差理解と健康教育

林 正 (滋賀大学教授)

教員養成大学・学部における健康教育の力量 (健康に対する意識、態度、技量の指導性) 形成に必要な履修内容に関する要求度の検討を行った結果 (学校保健研究 Vol.30, No.10, 1988)、学校保健の中心的課題は対応が困難である①精神的な健康問題の指導、②子供の問題行動の早期発見と指導、③心身に障害のある子供の指導、④性教育の進め方、⑤応急処置の仕方等に集約された。以上は教師、保護者、教育実習終了後の学生集団で共通している。そして現代的環境における子供の健康問題への適切な対応への必要性を卒直に示唆している。これらの問題に関してささやかな実践を例示して、ご批判をいただければ幸いである。

一人の子供の健康問題の現実に学び、実践のなかでその子なりの自己実現への見通しが確認できたときの喜びは大きい。実践科学としての体系化は、これからの学校保健や健康教育の理論的構築とあわせて大切な仕事になってくるように考えられる。

座 長 林 正 (滋賀大学教授)

貧血についての健康管理

山岸 司久 (滋賀大学教授、滋賀大学保健管理センター所長)

貧血という言葉は誰でも知っているが、顔が白いから貧血ではないかとか、貧血だったらレバーやほうれん草を食べたらよいなどの曖昧な知識しか持っていない人が多い。青少年の貧血の原因は鉄欠乏が最も多いので貧血というと原因を確かめずに鉄剤で治療する医師もいる程である。しかし貧血にはそれ以外の原因によって起こるものも多数あり、それらの病態についての知識や食事療法を含めた治療法についての知識を持つことは保健指導に必要と考えられる。また貧血の一型である再生不良性貧血では最近骨髓移植が治療法として行なわれるようになっており、マスコミでしばしば報道されている。このような新しい治療法についての正しい知識を得ることも必要であろう。そこで長年血液の病気にたずさわって来られた山岸司久教授 (滋賀大学教授) の特別講演を企画した。

懇 親 会 (17:30~19:00)

アヤハ レークサイド ホテル 会費 4,000円

大津市におの浜3丁目2-25 TEL0775-24-2321

学会当日も受付で申込みを受付けます。

多数の会員の方の御参加をお待ちしております。

平成4年度 近畿学校保健学会総会

近畿学校保健学会会員各位 殿

学 会 幹 事 長

会則第16条により下記のように学会総会を開催しますので、会員各位の参加を要請します。

記

1. 日 時 平成4年6月6日(土) 14:10~14:45
2. 場 所 滋賀大学教育学部(3階)大会議室
3. 議 案
 - (1) 会務報告
 - (2) 平成3年度決算について
 - (3) 会計監査報告
 - (4) 新評議員の選出について
 - (5) 新幹事の選挙について
 - (6) 新幹事長の互選について
 - (7) 監査の依頼について
 - (8) 平成3年度予算案について
 - (9) 名誉会員の推挙について
 - (10) 次期(第40回)学会開催地および会長について
 - (11) その他

以 上

近畿学校保健学会会則

第1章 総 則

- 第1条 本会は近畿学校保健学会と称する。
第2条 本会は学校保健に関する研究を行い、学校教育に寄与することを目的とする。
第3条 本会の事務所は幹事長のもとにおく。

第2章 事 業

- 第4条 本会は第2条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 総会、年次学会の開催
2. 会誌その他出版物の刊行
3. 学校保健に関する調査研究
4. その他本会の目的達成に必要な事業

第3章 会 員

- 第5条 会員は本会の目的に賛同し、会費を納入したものとする。
第6条 会員は年次学会、会誌などを通じて研究を発表することができる。また会誌の配布および本会の事業について連絡を受ける。
第7条 本会には賛助会員および名誉会員をおくことができる。
第8条 賛助会員は本会の目的を達成するために賛助の意を表し、評議員会の承認を経たもので賛助会費を納めたものとする。
第9条 名誉会員は学校保健に関し、学識、経験に富み、本会に功労のあったもので、評議員会の推薦にもとづき、総会で承認されたものとする。
第10条 会員は会費を滞納し、若しくは本会の名誉をけがす行為があったときには評議員会の議決により除名することができる。

第4章 役 員

- 第11条 本会に次の役員をおく。
1. 評議員 若干名
2. 幹 事 若干名（うち1名を幹事長、一部を常任幹事とする）
3. 監 事 2名
第12条 役員の任期は2年とし、再任を妨げない。役員は会員より選出されるものとする。
第13条 役員の選出方法は別に定める。
第14条 役員の任務を次のように定める。
1. 評議員は評議員会を組織する。
2. 幹事は幹事会を組織する。常任幹事は会務を処理する。幹事長は学会を代表し、会務を統括する。

3. 監事は会計を監査する。

第5章 会 議

- 第15条 本会の会議は総会、評議員会および幹事会とする。
第16条 総会は幹事長が毎年1回召集し開催する。必要に応じ臨時総会を開催することができる。
第17条 評議員会は幹事長が召集し、本会の運営に関する重要な事項を審議決定し、総会の承認をうるものとする。
第18条 幹事会は幹事長が召集し、評議員会に提案する議題の審議ならびに総会、評議員会から委任された会務を処理する。
第19条 評議員会および幹事会は構成員の過半数をもって成立する。

第6章 年次学会

- 第20条 本会は毎年1回年次学会を開催する。
第21条 年次学会長は会員のうちから評議員会で選出し、総会で承認され、年次学会の運営にあたる。
2. 年次学会長は幹事会に出席することができる。

第7章 会 計

- 第22条 本会の経費は、会費、寄附金その他の収入をもってあてる。
第23条 本会の会計年度は毎年4月1日より翌年3月31日までとする。
第24条 本会の収支決算は、監事の監査を受け、評議員会の議を経て総会の承認を得るものとする。

雑 則

- 第25条 本会則の変更は総会の決議によるものとする。

附 則

- 第26条 会費は年額3,000円とする。
第27条 本会則は、昭和28年6月29日より施行する。

昭和33年6月13日 一部改正
昭和39年5月17日 一部改正
昭和49年9月6日 一部改正
昭和56年7月9日 改正
昭和57年6月8日 改正

第39回日本学校保健学会ご案内

下記のとおり開催されますので、関心のある方は、どなたでも参加できますから近畿学校保健学会と同様積極的にご参加下さい。

学会長 安藤 志ま 東海学校保健研究所所長
元瑞穂短期大学教授
元文部省保健体育審議会委員

1. 開催期日 1992年11月21日(土)、22日(日)
2. 会場 名古屋市中小企業振興会館(通称 吹上ホール)
〒464 名古屋市千種区吹上2丁目6番3号 TEL 052-735-2111
3. メイン・テーマ 「養護教諭職制50周年と今後の学校保健発展への活動」
4. 企画
 - 学会長講演 「養護教諭の半世紀の軌跡と今後の課題」 安藤 志ま
 - 特別講演 「学校教育・学校保健の展望」
愛知芸術文化センター総長・元名古屋大学学長 飯島 宗一
 - 年次学会長要望課題
 - ① 生涯保健の中の健康教育
 - ② 学校教育における健康観察
 - 学会要望課題
 - ① 喫煙防止教育
 - ② 国際学校保健
 - シンポジウム
 - ① 学校保健と養護教諭の役割
 - ② 子どもにみられる成人病とその対策
 - ③ 保健管理の新しい試み
 - 学会共同研究
 - ① 学校性教育
 - ② 発育・発達
5. 演題申込み締切り 1992年6月30日(火)(当日消印有効)
6. 連絡・問い合わせ先: 〒448 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1 愛知教育大学養護教育教室内
第39回日本学校保健学会事務局 TEL 0566-36-3111 内線480-486
FAX 0566-36-7795

平成4年度会費納入について

第28回近畿学校保健学会総会において学会会則が改正され、昭和57年度より恒久会員制を設けることになりました。当分の間、本会の目的に賛同され会員として会費を納入していただきますと、年2～3回学会通信および年次学会の講演集をお送りいたします。また、平成4年度年次学会(於大津)での研究発表は共同発表者も含めて会員でないとできませんので、入会を希望される方および発表者(共同発表者を含めて)は平成4年度会費3,000円を学会事務局まで納入されますようお願いいたします。